

第254回「湖西の巨樹・名木を巡るバスツアー」

〈開催日時〉 2016年9月25日(日)
 〈集合場所〉 近江八幡駅北口 8:00 堅田駅 8:30
 〈参加人数〉 大谷幹事以下28名

今回、過去に実施した「巨樹・名木ツアー」を再企画しました。
 8ヶ所の巨樹・名木を巡り、幹周を計測して滋習植物同好会編の「近江の名木・並木道」等のデータとの比較も行いました。

① 藤樹神社のタブノキ 推定樹齢は400年以上と言われる

胸高周囲 484 cm (旧データ492 cm) 数値が少なくなったのは、老木のためか? 樹木医の手も入っている



ウワミズザクラ、ツタウルシなど、
 多くの植物が樹木のスキマに根付いている



(シダ植物) マツバラン
 樹木の根元に生育していた

リンボク バラ科バクチノキ属
 樹皮が剥がれていない



階の木 (ランシンボク)
 孔子廟に植えられている
 藤樹先生つながり



偶数羽状複葉
 ウルシ科と言われると



② 布留(ふる)神社のクスノキ 湖西最大級、他に3本ある

胸高周囲 592 cm (旧データ561 cm) 樹勢が良好で大きくなっていると思われる



1本目



2本目 胸高周囲397 cm



3本目 胸高周囲344 cm

4本目 胸高周囲390 cm
 写真取れず

葉に昆虫



③ 遍々杵（ニニギ）神社のツクバネガシ 県内最大級
 胸高周囲 522 cm (旧データ580 cm) 人の姿と比較すると大きさが判る



鳥居の上に突き出ている樹木
 がツクバネガシ



境内にある ムクロジ
 葉は偶数羽状複葉



明るい日差しが入る境内には
 多様な草本植物が見られる



ヒヨドリジョウゴ
 ゲンノショウコ
 ヨメナ
 イボクサ

◎ 道の駅「くつき新本陣」で昼食休憩 天候に恵まれ土手に出て昼食



ヤブツルアズキ
 (アズキの原種)



カナムグラの雄花



カナムグラの雌花



ヒメジソ



シデコブシの果実



ハクモクレン

④ 阿志都弥（アシズミ）神社・行過天満宮のスダジイとヤマザクラ
 胸高周囲 665 cm（旧データ608 cm） 幹の太さに斤倒された

スダジイは滋賀県指定自然記念物



ウチワゴケ



アクシバの果実



ヤマザクラ 2本
 右：胸高周囲 390cm

アキノタムラソウ



ヒヨドリバナ



⑤ 今津浜の松並木（彼岸花群生地）

日本の白砂青松百選

松林の中の群生地



今津浜の彼岸花・竹生島・伊吹山



コマツヨイグサ



アレチマツヨイグサ



ハマヒルガオ



⑥ 大處神社のカツラ 社殿の左・右（御神木）にある

胸高周囲 右：538 cm（旧データ 516 cm） 左：476 cm（旧データ 476 cm）



社殿 左



社殿 右



奥に本殿
が見える



マキノ町の産物
たわわに実ったクリ

⑦ 八幡神社（マキノ町石庭）のタブノキ 境内が広く参道の両脇色々な花が見られた

胸高周囲 678 cm（旧データ 655 cm）



ノコンギク



ハギは同定が難しいとのこと
ミヤギノハギ？

ヤマシロギク
（イナカギク）



イヌタデとハナタデ



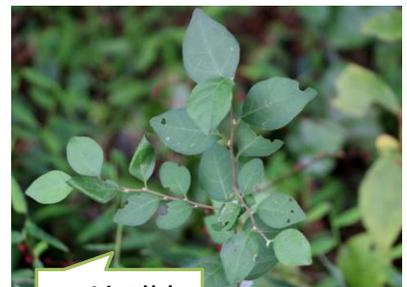
ツルボ



チャノキの花



ハグロソウ



エノキの幼木



クロヤツシロランの種子



シロソウメンタケ



オオハナワラビ



ヤマノイモのムカゴ



オニドコロの果実

⑧ マキノ高原のメタセコイア並木 新・日本街路樹百景



メタセコイア並木
他の季節にも来てみたい



マキノピクニックランド
大盛況

村山和夫